

》 第一章 計画の基本的な考え方

第一 子どもの読書活動の意義

子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」です。（「子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条より）

子どもたちは読書を通じて、考える力、判断する力、表現する力を身に付け、夢や希望を持ち困難を乗り越える力を育てていきます。さらに、読書習慣は、語彙（ごい）を豊かにし、基礎学力の向上につながるとともに、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを育て生涯にわたる能動的な学びの基礎として重要な意義を持ちます。

そのためには、子どもたちが読書を好きになり読書習慣を身に付けるよう、さまざまな本との出会いや読書の楽しさを知る多様なきっかけを提供し、家庭・地域・学校等が連携し区を挙げて子どもの読書活動を推進することが重要です。

第二 計画の位置づけ

- 1 本計画は、「第2次みどりの風吹くまちビジョン」に基づき、区における子どもの読書活動の推進に関する施策の方向性と取組の体系を示すものです。
- 2 本計画は、「練馬区教育・子育て大綱」、「練馬区教育振興基本計画」、「練馬区立図書館ビジョン」その他関連する計画との整合を図り、策定しています。
- 3 本計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項の規定に基づく計画であり、国が策定した「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第四次）」および東京都が策定した「第三次東京都子供読書活動推進計画」の趣旨を踏まえ、区における子どもの読書活動の状況等を考慮して策定しています。
- 4 本計画による各取組を実現するための事業については、各年度の予算や個別事業計画等の中で明らかにします。

第三 計画の期間

令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

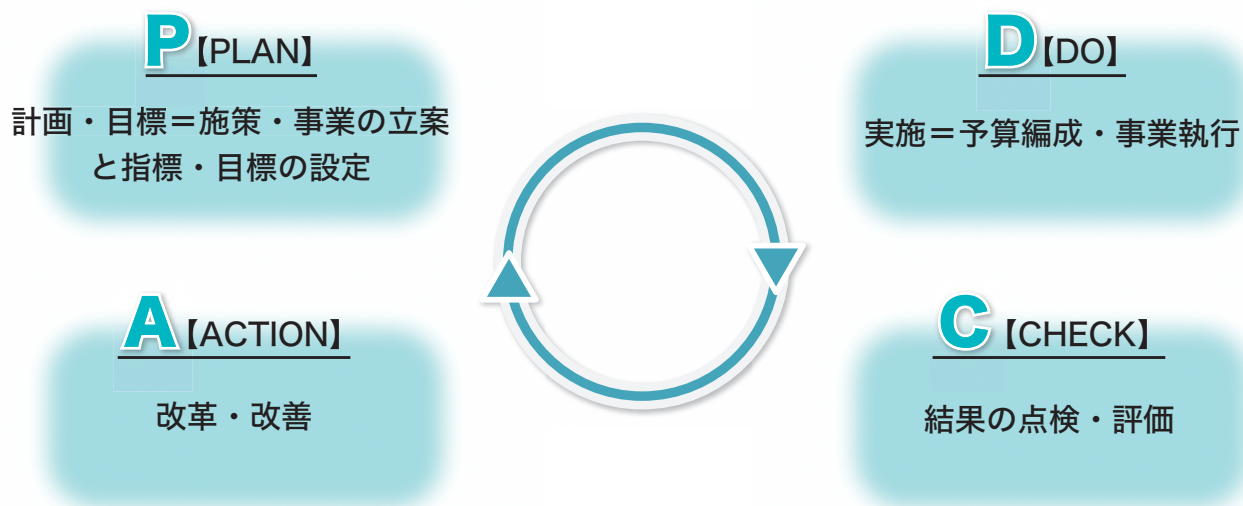
第四 計画の対象となる子どもの年齢

0歳から概ね18歳までを対象とします。

第五 計画の推進体制

計画を着実に推進していくため、PDCAサイクル（※）により、取組状況の把握・点検、課題の検証を行い、その結果をその後の事業や計画の見直しに反映させていきます。サイクルC「結果の点検・評価」のために、学識経験者、関係団体、公募区民で構成する「練馬区子ども読書活動推進会議」を常設し、個別事業の取組状況や実態について意見交換を行い、問題点や課題を検証します。

※PDCAサイクル



第六 子どもの読書活動推進のこれまでの取組状況等

区は、平成16年3月に「練馬区子ども読書活動推進計画（平成16年度～20年度）」、平成21年3月に「練馬区子ども読書活動推進計画（第二次）（平成21年度～25年度）」、平成26年3月に計画期間を1年間延長した「練馬区子ども読書活動推進計画（第二次）（改訂版）」、平成27年9月に「練馬区子ども読書活動推進計画（第三次）（平成27年度～31年度）」（以下第三次計画という。）を策定し、関係団体等と連携を図りながら、子どもの読書活動の推進に取り組んできました。

第三次計画の取組体系における基本的な5つの項目（1乳幼児の読書活動の推進、2小中学生の読書活動の推進、3高校生等の読書活動の推進、4支援を必要とする子どもの読書活動の推進、5関係団体等との連携）の取組状況は次の通りです。

1 乳幼児の読書活動の推進

家庭や地域等における乳幼児の読書活動を推進するため、区立図書館、保育所や幼稚園、児童館、保健相談所および地域文庫[※]等が、事業の充実・発展に取り組んできました。

保育所では、園だよりや絵本コーナーを活用して、保護者におすすめの絵本を紹介する等、読書活動の支援・啓発に取り組み、幼稚園では、絵本や物語に親しめるように、よみきかせやパネルシアター[※]、絵本ラリー[※]等を地域ボランティアとの協働で実施しています。

児童館では、紙芝居、絵本のよみきかせや、図書室の本の配置を工夫し、親子で一緒に本に親しめる環境づくり等を行っています。

区立図書館では、ブックスタート事業[※]を各館で定期的を実施し、本を通じた親子のふれあいの大切さを広めています。また、発達段階に応じたよみきかせやおはなし会、手話付きおはなし会の他、多様な分野の本に触れ、読書の楽しみを体験できるクイズ形式の本の探検ラリー[※]等各種事業を実施してきました。施設や設備面では、児童図書、青少年図書の所蔵数を充実し、平成25年4月に南大泉図書館分室「こどもと本のひろば」を開館する等、子どもの読書環境の充実を図りました。

※は、P40の用語説明参照



南大泉図書館分室 こどもと本のひろば

「こどもと本のひろば」は、小学校低学年までの子どもたちとその保護者を対象とし、乳幼児や児童向けの図書を充実させるとともに、安心して読書や事業を楽しめる空間づくりを大切にしています。

2 小中学生の読書活動の推進

区立小中学校では、全校で学校図書館運営計画[※]を作成し、朝読書や読書週間、読書旬間等の取組を計画的に行うとともに、区立図書館で実施している図書の団体貸出を積極的に活用する等、読書活動の充実に取り組んできました。

また、保護者や地域のボランティアの協力を得ながら学校における読書活動の充実に図りました。学校図書館では、学校図書館管理員[※]および学校図書館支援員[※]により、よみかせやブックトーク[※]等の事業を行うとともに、調べ学習[※]の支援、図書選定の助言、適切な蔵書管理等を行い、学校図書館を利活用した学習支援の取組を進めています。



学校図書館蔵書管理システム

学校図書館蔵書管理システムを区立小中学校全校に令和2年度までに順次導入しており、学校図書館の利活用促進につなげています。



本の探検ラリー事業

子どもたちの本への関心を広げ、読書習慣を身に付けるきっかけづくりの事業の一つが「本の探検ラリー」です。多様な分野の本を読み、その本に関するクイズに答える事業で、区民団体と図書館が連携し小中学校等で実施されています。

※は、P40～41の用語説明参照

3 高校生等の読書活動の推進

区では、平和台図書館および関町図書館の大規模改修時に、ティーンズコーナーの拡充や主に中高生がグループで調べものや学習に利用できるグループ学習室を設ける等、利用しやすい環境を整備しました。また、区立図書館では、高校生が読書に興味や関心を持てるよう、「ビブリオバトル(知的書評合戦)」の開催や参加者が好きな本を持ち寄って紹介し、参加者全員で一冊の本を読んで感想を語り合う「読書会」を実施しています。



ビブリオバトル

ビブリオバトルは、参加者が一人ずつ本を紹介し、最も読みたいと思う本を投票で決めるゲームです。発表者の考え方や個性が伝わり、お互いのコミュニケーションが図られます。

4 支援を必要とする子どもの読書活動の推進

区立図書館は、子どもの発達段階や特性に応じて楽しむことができる、絵本と遊具の性質を兼ね備えた、布の絵本の製作や収集を行い、絵本の世界に親しめる場の提供を進めています。また、定期的に布の絵本製作講習会を開催し、ボランティアの育成にも努めています。

また、手話付きおはなし会や出張おはなし会の実施、特別支援学級への団体貸出[※]を行う等、支援を必要とする子どもが様々な本と触れ合う機会の充実を進めています。



布の絵本

布の絵本は、視覚・肢体・情緒・知能などさまざまな障害のある子どもたちのために作られ、絵本と教具・遊具の要素を備えたものです。

※は、P41の用語説明参照

5 関係団体等との連携

区立図書館ボランティアがよみきかせを行い、地域文庫が無償で子どもたちに本の貸出を行うなど、家庭・地域・学校・関係団体が連携し、相互に協力しながら各種事業に取り組んできました。区立図書館は、関係団体をつなぐ中心的な役割を担い、近隣の小中学校との連絡協議会等を開催して、情報交換および相互協力を進めています。

本計画の事業については、定期的に練馬区子ども読書活動推進会議（平成16年度に設置）において、意見交換や検討を行い、進捗状況等を管理しています。

第三次計画目標指標の達成状況

第三次計画で設定した目標指標の達成状況は次のとおりです。

指 標		平成27年度 実績値	平成30年度 実績値	平成31年度 目標値
区立図書館によるおはなし会等事業の 実施回数および参加人数	実施回数	1,143回	1,446回	1,300回
	参加人数	27,116人	32,789人	29,500人
ブックスタート事業の参加率	参加率 (%)	74%	71%	80%
学校図書館運営計画作成率	小学校 (%)	100%	100%	100%
	中学校 (%)	100%	100%	100%
本の探検ラリーの実施校数	実施校数	51校	59校	65校
区立図書館による子どもへの貸出冊数	貸出冊数	1,488,313冊	1,557,247冊	1,700,000冊
区立図書館による学校等団体への貸出冊数	貸出冊数	134,572冊	152,666冊	140,000冊
小中学生の読書率	小学生 (%)	95.4%	98.5% ※	100%
	中学生 (%)	91.1%	93.7% ※	100%
区立図書館におけるボランティアの 活動回数および活動人数	活動回数	1,373回	1,655回	1,800回
	活動人数	7,199人	8,336人	8,000人

※読書率は2年に1度の調査であり、平成30年度は未実施のため、平成29年度調査の数字となっています。

② 子どもの読書活動における主な課題や今後の取組の方向

第三次計画の取組状況等からみた主な課題や今後の取組の方向は、以下の通りです。

- 1 「ブックスタート事業」は、参加者が事業後に図書館で絵本等を借りて帰るきっかけになるなど、家庭読書の促進につながっていますが、参加率はここ数年7割前後で推移しており伸び悩んでいます。内容の工夫や、効果的な周知方法について、一層の検討が必要です。
- 2 「区立図書館の子どもへの貸出冊数」は、図書館に利用登録している子どもの貸出数をカウントしています。保護者が自分の利用カードを使って、お子さんのために本を借りる場合もあり、子ども向けの貸出冊数の実態が反映されていません。実態に即した目標値を検討するとともに、今後も様々な事業を通じて子ども向けの本を紹介し、子どもへの図書の出借増加につなげて行く必要があります。
- 3 学校図書館では、学校図書館管理員・学校図書館支援員の配置および学校図書館蔵書管理システムの導入により、調べ学習や学校図書館を活用した授業の展開などが広がっています。第四次計画においても更なる学校図書館の利活用を推進していきます。
- 4 高校生等の読書離れが課題となっています。図書館の利用や事業への参加者も比較的少ない状況にあります。第四次計画では「高校年代」に向けて、興味や関心を喚起するための広報の工夫や仲間同士の交流に着目した事業に取り組みます。
- 5 令和元年6月に成立した「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（令和元年法律第49号）に対応するため、様々な子どもの状況に応じた読書環境の整備や事業参加への配慮を検討する必要があります。また、同じ令和元年6月に成立した「日本語教育の推進に関する法律」（令和元年法律第48号）では、日本語を母語としない子どもたちへの支援の充実が求められており、対応が必要です。
- 6 区立図書館は、さまざまな読書活動を支援する機関をつなぐ中心的な役割を担い、引き続き子どもの読書活動を推進していきます。

④ 第四次計画目標指標について

第三次計画の結果を踏まえて指標を見直すとともに、目標ごとに「主要指標」を設定します。また、実績値を取ることが可能で、かつ各目標の取組状況を確認するのにふさわしい「取組事業」にも目標指標を設定します。

第四次練馬区子ども読書活動推進計画に係る関係施策目標値の設定について

目標名	取組事業	指標	平成30年度 実績値	令和6年度 目標値
目標一 乳幼児の読書 活動の推進	主要指標	1 ブックスタート事業の参加率 (%)	71%	80%
		2 区立図書館による乳幼児への貸出冊数 (冊)	526,419 冊	550,000 冊
	施策2 取組2 (1) おはなし会、よみきかせ等 各種事業	3 区立図書館によるおはなし会等事業の実施回数 (回)	1,446 回	1,500 回
		区立図書館によるおはなし会等事業の参加人数 (人)	32,789 人	33,500 人
目標二 小中学生の読 書活動の推進	主要指標	4 小学生の読書率 (%)	98.5%※ ¹	100%
		中学生の読書率 (%)	93.7%※ ¹	100%
	施策1 取組1 (1) 学校図書館の利活用と運営 の充実	5 読書活動推進のための指導計画作成割合 (小学校) (%)	80.0%※ ¹	100%
		読書活動推進のための指導計画作成割合 (中学校) (%)	70.6%※ ¹	100%
	施策1 取組1 (3) 学校図書館所蔵図書の情報 化	6 学校図書館の貸出冊数 (小学校) (冊)	— (※ ²)	令和3年度 より増加
		学校図書館の貸出冊数 (中学校) (冊)	— (※ ²)	令和3年度 より増加
	施策1 取組1 (5) 図書館資料の団体貸出	7 区立図書館による学校等への団体貸出冊数 (冊)	152,666 冊	160,000 冊
	施策2 取組3 (4) 本の探検ラリー	8 本の探検ラリーの実施校数 (校)	59 校	65 校
	施策2 取組3 (6) 子どもへの図書貸出の促進	9 区立図書館による小学生への貸出冊数 (冊)	801,368 冊	850,000 冊
		区立図書館による中学生への貸出冊数 (冊)	149,479 冊	160,000 冊

目標名	取組事業	指 標		平成30年度 実績値	令和6年度 目標値
目標三 高校年代の読 書活動の推進	主要指標	10	区立図書館による高校年代への貸 出冊数(冊)	79,981冊	100,000冊
	施策2取組5 多様な読書活動の推進	11	区内都立高校の生徒の読書率(%)	64.6%※ ¹	74%
目標四 支援を必要と する子どもの 読書活動の推 進	主要指標	12	障害等に配慮した資料の点数(点)	22,214点	22,900点
	施策1取組3 特別支援学校等における読 書活動の推進	13	区立図書館による特別支援学校等 への貸出冊数(冊)	1,839冊	2,100冊
目標五 読書活動推進 の基盤づくり	主要指標	14	区立図書館におけるボランティア の活動回数(回)	1,655回	1,800回
			区立図書館におけるボランティア の活動人数(人)	8,336人	9,000人

※¹ 読書率および計画策定率については、2年に一度の調査のため平成29年度の数字を掲載しています。

※² 学校図書館の貸出冊数は、令和3年度分から全校の貸出冊数が集計できるようになります。

